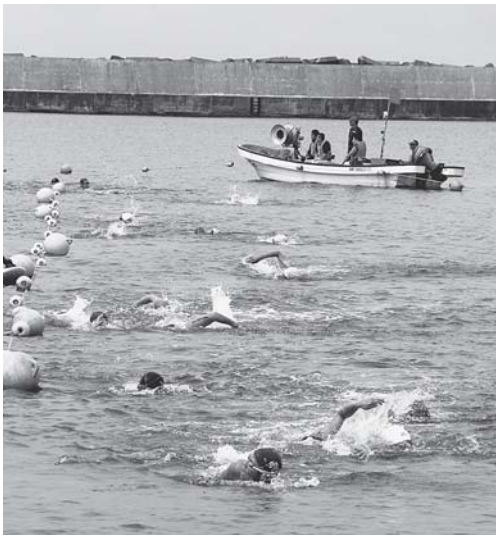
264人が目標に向かって力泳

つがる市とバス市の中間地点に到達
第24回チェスボローカップ水泳駅伝

「勇気と愛は海を越える」を合言葉に第24回チェスボローカップ水泳駅伝が8月4日、マグアビーチ（富萢町）で開催され、県内外から参加した51チーム264人が観客の声援を受けながら力泳しました。この大会は参加者全員の泳いだ距離を合計し、つがる市と姉妹都市米国メーン州バス市との直線距離1万200キロを泳ぎつなぐことを目標に毎年開催。今年の合計距離は152・9キロで通算距離は5199・24キロとなり、開始から24年目でつがる市とバス市の中間地点に到達しました。

オープンクラスで優勝し、全員でゴールする脇坂組の皆さん

スタートの合図とともに勢い良くスタート


マグアビーチで力強く泳ぐ参加者

両市の中間地点5100kmを通過した三浦桃子さん

大会結果（上位３チーム）

クラス	優勝	タイム	第2位	タイム	第3位	タイム
オープン 1000m×5	脇坂組（西東京市）	1時間 12分28秒	栗の花のかほり（弘前市）	1時間 18分03秒	だてこうデルフィンズ3（大館市）	1時間 18分12秒
ハーフオープン 500m×5	水神戦隊オヨグンジャー（弘前市）	30分46秒	武藤クレア支援隊（弘前市）	32分27秒	マッスルボイン五所川原（五所川原市）	33分35秒
シニア 500m×5	はちのへスイマーズクラブ ザ メロン（八戸市）	46分18秒	ガンバ青森（青森市）	49分09秒	十和田粋夢の会（十和田市）	54分40秒
レディース 500m×5	インターナショナル桂工業殿村薬局（大館市）	34分17秒	危険日チャレンジガールズ（弘前市）	38分29秒	YNG45（弘前市）	44分36秒
ジュニア 100m×5	およげメロン2013（弘前市）	9分15秒	翔虎と文昂と汐音ちゃん（つがる市）	9分22秒	いつ泳ぐの?? 今でしょっ!!（五所川原市）	9分59秒

水泳駅伝を前に 小学生がライフセービングを学ぶ

チェスボローカップ水泳駅伝は、明治22年に車力沖で座礁した米国メーン州バス市の貨物船チェスボロー号の乗組員を旧車力村民が決死の行動で救助した史実を現代に受け継ごうと開催されています。

水泳駅伝を前に８月３日、ライフセービング体験が行われ、市内小学生が水難事故から身を守る方法や安全対策について学びました。参加者は、つがるライフセービングクラブ員の指導のもと、ライフジャケットの付け方やレスキューボードの乗り方を実際に体験しました。

また、ライフセーバーが走力や反射神経を鍛えるための競技であるビーチフラッグスの大会も開催され、児童たちは砂浜で旗を目掛けて全力疾走し、白熱した戦いを繰り広げていました。

レスキューボードの乗り方を学ぶ

要救助者に見立てた旗を取り合うビーチフラッグス

次の泳者へハンドタッチ

今年はバス市訪問団の皆さんも参加。今大会から新設されたエキシビジョンクラスで1人100㍍泳いだ

つがる市特産のメロンを堪能

表彰式で喜びを語るインターナショナル桂工業殿村薬局の皆さん

今年は車力小学校６年生10人がスタッフとして参加。受付、ゴールでのバスタオルやゴールテープ係、メロンや景品の運搬など終始大活躍。児童たちは真夏の暑さの中、笑顔で大会を支えた。

最後に「チェスボローカップ！」の掛け声で思いを来年へつなぐ